

運営推進会議

令和5年4月開催分

参加者 介護保険課
包括支援センター
民生委員 前島様
町内会長 福田様
比津交番所長
福田様
生馬公民館館長 松尾様
みのり乳児保育園 藤井園長
ひさご苑職員 真井 仲田

・利用状況について

1F・・・男性0人、女性8人

年齢 99歳(1人) 96歳(1人) 91歳(1人) 88歳(1人)
87歳(2人) 81歳(1人) 76歳(1人)

平均年齢・・・88歳

介護度 介護1(6人) 介護3(2人)

認知症高齢者の日常生活自立度

I(1人) IIb(6人) IIIa(1人)

2F・・・男性0人、女性8人

年齢 94歳(1人) 89歳(1人) 87歳(2人) 84歳(1人)
82歳(1人) 81歳(1人) 79歳(1人)

平均年齢・・・85歳

介護度 介護1(2人) 介護2(4人) 介護3(2人)

認知症高齢者の日常生活自立度

IIa(3人) IIb(5人)

最高年齢99歳

最下年齢76歳

・入退所について

1F:女性 87歳 介護度2 長期の入院治療が必要になり2月28日付で退所。

2F:女性 84歳 介護度2 4月12日 入所

・主な活動内容(3月~4月)

1F:3月28日 学園の朝酌川周辺土手へお花見ドライブ(利用者7名)

2F:3月30日 大根島大塚山へ花見外出レクを行う(利用者全員参加)

・意見交換

① ヒヤリハットの報告

1F・2F ヒヤリハット なし

② 事故報告書の報告

1F 事故報告書 1件

・日時:令和5年3月13日15時10分頃 発生場所:居室内 ご利用者情報:86歳女性 介護1 車椅子

発生場面:センサーが鳴っており、訪室するとすでにベッド横の床に仰臥位で転倒されている。意識明瞭。頭頂部にたんこぶができる。原因:トイレに歩いて行こうとベッド脇の車椅子を避けた際にバランスを崩して転倒されたと思われる。また、他入居者の方の介助や来客対応も重なり、職員間の連携が不十分でセンサーに気付くのが遅れたことも原因の一つである。対応:脳神経外科受診。頭部CT検査の結果、異常なし。対策:センサー対応が迅速に行えるようにこれから誰の居室に行くか、手が離せない場合も他の職員にその旨を伝える等、声かけをお互いで行い、連携を強化する。

2F なし

③ 身体拘束等の適正化の為の対策検討

1F:T様 1月25日・3月13日と2回、室内にて転倒。腰の圧迫骨折をされてからは車椅子生活になる。ただ、トイレに行きたい時などにご自分で歩いて行こうとされる時があり、転倒リスクが高く、ご家族とも相談し、ベッド足元にセンサーを設置して対応するようにした。